

学校だより

あ お ぎ り

No. 1 0 平成 2 3 年 1 2 月 2 7 日

須坂市立森上小学校

人権同和教育強調月間 11/15～12/14

須坂市は、平成 6 年に「部落解放・人権尊重都市宣言」を行い、あらゆる分野で人権意識を高め、互いの人権を守り、差別のない明るく住みよい社会を築くための活動を行っていくことを大事な施策の一つとしています。これを受け、市内の全小中学校では、毎年、人権同和教育を重点的に行う期間を設け取り組んでいます。それが強調月間です。

本校では、「あなたと私のしあわせ月間」という呼称で、今年度、子どもたちに友だちとの関係を問い直したり、ハンディに負けないで生きる人々の生き方に学んだり、部落差別の問題を取り上げたりして学習を深めてきました。



2 日（金）に行われた「なかよし集会」では、この月間中に、各学級で学習したことを発表し合いました。

5 年仁組の子どもたちは、道徳の時間に長野パラリンピックに中学 3 年で出場した丸山直也選手について学んだことや、姉妹学級である 2 年仁組との交流で感じたことや考えたことなどを発表してくれました。

交通事故で足を切断しなければならなくなった丸山選手について、ただ「か

わいそう」やその後の活躍を「すごい」という一言で片付けるのではなく、「運動が好きな丸山さんが足を失うことは、歌が好きな私にとっては声を失うことと同じ。私だったら・・・」と、自分に置き換えて考え語る子どもたちの姿が印象的でした。

最後に、係の浦野先生から、「『おもいやりの木』『しんせつの木』に、これからもたくさん葉を繁らせていきましょう。」というお話がありました。



2 学期も、学校全体で、学校目標の「やさしい子」「やりぬく子」「やくそくを守る子」の達成を目指し取り組んできました。学校の内外で森上小学校の子どもたちの活躍が見られ、十分な成果が上げられた 2 学期だったと思います。

ご家庭のご協力に感謝申し上げます。

冬の読書旬間

12 / 12 ~ 22



毎年、森上小学校に来て、楽しい創作話を劇などで紹介してくださっているサークル「なにしてる」の皆さんの公演が、12日(月)にありました。

今回は、「つなひきむらはいいい天気ーおばばのひみつー」という題名の劇でした。

おばばは村人に慕われていますが、実はひとり暮らしが寂しくて山を下りてきた山姥でした。ある日、泥棒が村に入り、村人の

宝物の綱を盗んでいこうとします。おばばは正体が知られることを覚悟で、泥棒から綱を取り返します。村人に謝り山へ帰るといっておばばに、村人は「これからもみんな仲良く暮らそう。」と呼びかけ、おばばを囲んで村は元通りの平和な生活に戻るとい内容のお話でした。

「それ引け、やれ引け、エンヤコラセー」という劇中歌あり、人形の動きのおもしろさあり、泥棒や山姥に扮したお母さんたちのユーモラスな演技ありで、観ている子どもたちは拍手大喝采。大変楽しませてもらいました。今回は、5年生の児童2人も協賛メンバーの一員として出演。指人形を操り、熱演してくれました。

読書旬間では、このほか、先生方の読み聞かせ、読書郵便、人気の本の紹介なども行いました。

今まで以上に、本と友だちになった子どもが大勢現れた旬間になったのではないかと思います。



冬休みのお願い

12 / 28 ~ 1 / 9

年末年始をはさんだ冬休みは、大掃除や一家団欒などの家族を基盤とする生活が1年中で一番体感できる休みです。また、昔からの日本の伝統行事に接することができる休みでもあります。

下記の点に気を配っていただきながら、子どもたちにとって楽しい休みになりますようご配慮ください。よろしくお願いいたします。

【特にお願いしたいこと】

- ・お年玉を含めた子どもたちの金銭の管理及び家庭でのご指導
- ・交通事故防止 ... 安全な歩行 雪道の自転車乗りは禁止等
- ・規則正しい生活の励行

ゲームづけの生活にならないように

パソコンや携帯電話使用時のアクセス先にも注意の目を！

